

第 1389 例会

5月8日(火)「金沢ニューグランドホテル」にて通常例会が開催されました。

若林会長の挨拶では、任期が終わりに近づくと気が緩みがちです。この後、アフガニスタンへのランドセルの事業が残っております。よろしくご協力ください。また、卯辰山の清掃活動は道路状態が悪いので延期になっていますが、年間を通じて奉仕事業をしているところが当クラブの良いことだと思っております。

なぜ通常4月から新年度が始まるのかという疑問ですが、昔、国の財政が赤字になったとき、当時の政府が6月を前倒しにして決算をしたということで、ものごとには何かしらの歴史的背景があります。

来年、再来年と60周年事業を控えておりますが、全員協力の体制を整えてください。また、次年度に向けて内山祥一.Lと綿密な打ち合わせをしながら、当クラブがうまく運営できるようにしていきたいと挨拶を終えました。

春の叙勲で清水行雄.Lが 瑞宝双光章を受賞され、花束贈呈が行われました。

本日のメンバースピーチは細川外茂治.Lが「住宅と健康」の演題で話をしました。

人間の最も快適な温度は23℃、快適な湿度は50～60%です。

冬の家室内では、暖かい空気は天井付近に上昇し、天井付近と床付近で温度差が生じます。体温調整をつかさどる自律神経が機能しなくなり、体調不良を起こします。これを改善するのは、高気密・高断熱・計画換気住宅です。

また、夏の家室内では、日射により熱せられた天井・壁からの温輻射熱が室内に降り注ぎ、暑くなります。体温の調整機能

が悪くなり、脱水症や熱中症、クーラー病も発生します。これを改善するのも、高気密・高断熱・計画換気住宅です。高気密・高断熱・計画換気住宅のさらなる利点として、1) 火、ダニ、バのシャットアウト、2) 騒音防止、3) 地球規模の環境保全、4) 建物の寿命が延びる、5) 花粉・黄砂・PM2.5等の侵入防止があります。大事なのは金沢の気候風土に合った家づくりが必要ですとスピーチを終え、続いて細川外茂治.Lがテールツイスターに戻り、ドネーションの発表をして終わりました。

最後に、清水行雄.Lが永いこと続けてやっていると何か良いことがあるとお礼の挨拶がありました。

記事：永野琢也.L